

平成28年度病虫害発生予報第6号

長崎県病虫害防除所長

【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
普通期水稲	紋枯病 トビイロウンカ	やや少 並	やや少 並
大豆	ハスモンヨトウ（防除情報第12号継続） 吸実性カメムシ類	並 並	やや多 並
いちご	うどんこ病 炭疽病（ <i>G. cingulata</i> ） （注意報第2号継続） ハダニ類（注意報第3号継続） ハスモンヨトウ	並 やや多 並 並	並 やや多 並 やや多
アスパラガス	斑点性病害 アザミウマ類	やや多 並	やや多 並
かんきつ	緑かび病、青かび病 ミカンハダニ	— 並	やや多 並
果樹共通	カメムシ類（防除情報第13号）	並	並
茶	炭疽病 カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ クワシロカイガラムシ	並 やや多 並 並 やや少 並 並	並 やや多 並 並 やや少 並 並

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

普通期水稲

1. 紋枯病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（81筆）の結果、発病株率は0.1%（2.6%）、発生圃場率は1.2%（38.1%）であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、発病株率は14.5%（45.1%）であった。

2. トビイロウンカ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（81筆）の結果、株当たり虫数は0.2頭（0.8頭）、発生圃場率は46.9%（55.6%）と平年並であった。

短翅型雌成虫の株当たり虫数は、9月上旬の巡回調査では0.1頭（過去9ヵ年平均0.1頭）、発生圃場率は24.7%（過去9ヵ年平均28.9%）と平年並であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、株当たり虫数は0.5頭（4.4頭）、寄生株率は27.0%（54.5%）であった。

大豆

1. ハスモンヨトウ

平成28年9月2日付け**病害虫発生予察防除情報第12号**を継続。

なお、その後の発生状況については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

ア 9月上旬の巡回調査（15筆）の結果、寄生株率は12.8%（10.6%）、株当たり虫数は0.3頭（0.6頭）、白変葉発生圃場率は80.0%（52.5%）であった。

イ 9月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、発生を認めなかった（寄生株率13.1%）。

ウ フェロモントラップ（諫早市）の誘殺量は、8月6半旬に急増し、その後も平年よりやや多く推移している（図）。

エ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

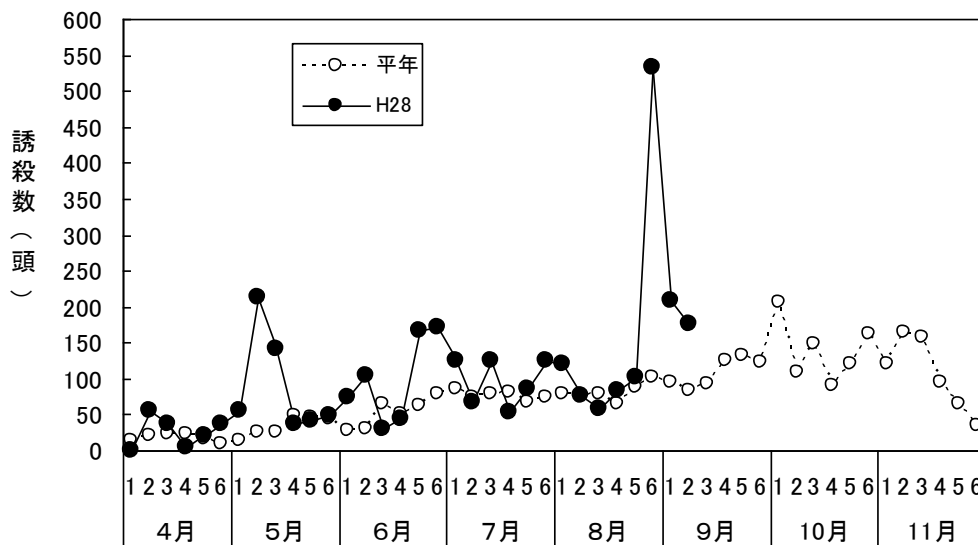


図 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越）

平年：H18～H27年の平均値（最大・最小値除く）

（月・半旬）

2. 吸実性カメムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（15筆）の結果、発生を認めなかった（寄生株率0.5%、株当たり虫数0.0頭、発生圃場率13.2%）。

イ 9月3半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、発生を認めなかった（寄生株率は5.0%、株当たり虫数は0.01頭）。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査（31筆）の結果、発病株率は0.01%（0.04%）、発生圃場率は3.2%（1.9%）であった。

2. 炭疽病 (*G. cingulata*)

平成28年9月1日付け**病害虫発生予察注意報第2号**を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

ア 9月上旬の巡回調査（31筆）の結果、発病株率は0.87%（0.51%）、発生圃場率は29.0%（17.4%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、降水量も多い見込みであるため、本病の発生に好適である。

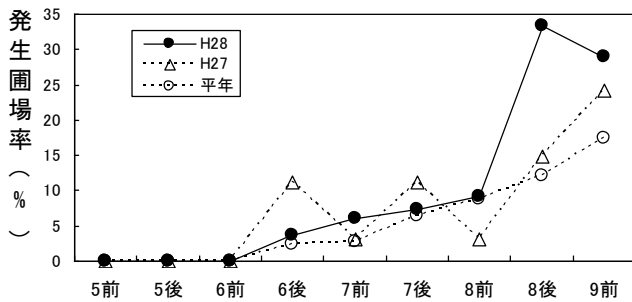


図 炭疽病 (*G. cingulata*) 発生圃場率の推移

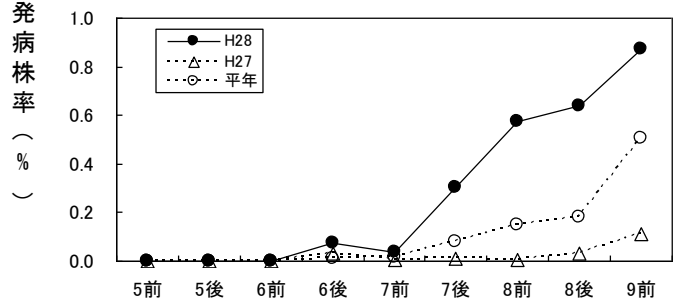


図 炭疽病 (*G. cingulata*) 発病株率の推移

(2) 防除上注意すべき事項

ア 発病株およびその周辺の株は速やかに処分するとともに、定植前の選別を徹底し、疑わしい株は定植しない。

イ 本圃で発病を認めた場合は速やかに抜き取り圃場外へ持ち出す。除去した発病株や茎葉は伝染源となるので圃場内やその周辺に放置しない。

ウ 強風雨や台風の前夜など発生のおそれがあるときは薬剤散布を徹底する。

3. ハダニ類

平成28年9月1日付け**病害虫発生予察注意報第3号**を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

9月上旬の巡回調査（31筆）の結果、発病株率は2.7%（3.5%）、発生圃場率は25.8%（35.5%）であった。

4. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査（31筆）の結果、食害株率は2.3%（2.1%）、発生圃場率は35.5%（28.6%）であった。

イ フェロモントラップ（諫早市）の誘殺量は、8月6半旬に増加し、その後も平年よりやや高い誘殺量で推移している（大豆の項参照）。

ウ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

アスパラガス

1. 斑点性病害

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(11筆)の結果、発病側枝率は13.5%(過去9ヶ年平均4.33%)、発生圃場率は63.6%(過去9ヶ年平均45.4%)であり、一部多発圃場があった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 通風の悪い条件下で発生しやすいため、過繁茂にならないよう茎葉の整理等を行い、換気を徹底することで本病の発生抑制に努める。

イ 罹病葉は伝染源となるので圃場外に持ち出し処分する。

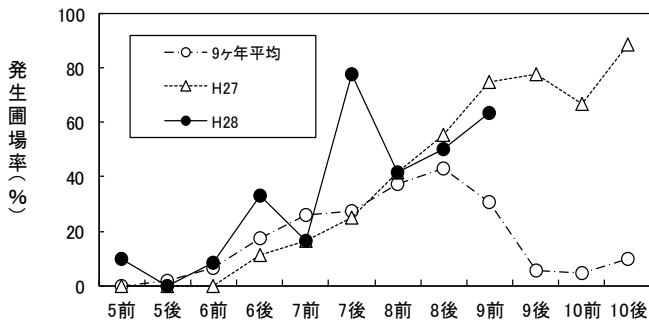


図 斑点性病害発生圃場率の推移

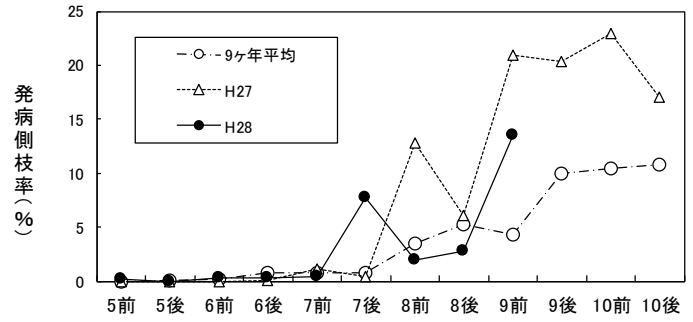


図 斑点性病害発病側枝率の推移

2. アザミウマ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(11筆)の結果、払い落とし虫数(10.5cm×22.5cmの白色板に5回×10ヶ所)は6.2頭(過去9ヶ年平均4.7頭)、発生圃場率は27.3%(過去9ヶ年平均56.9%)であった。

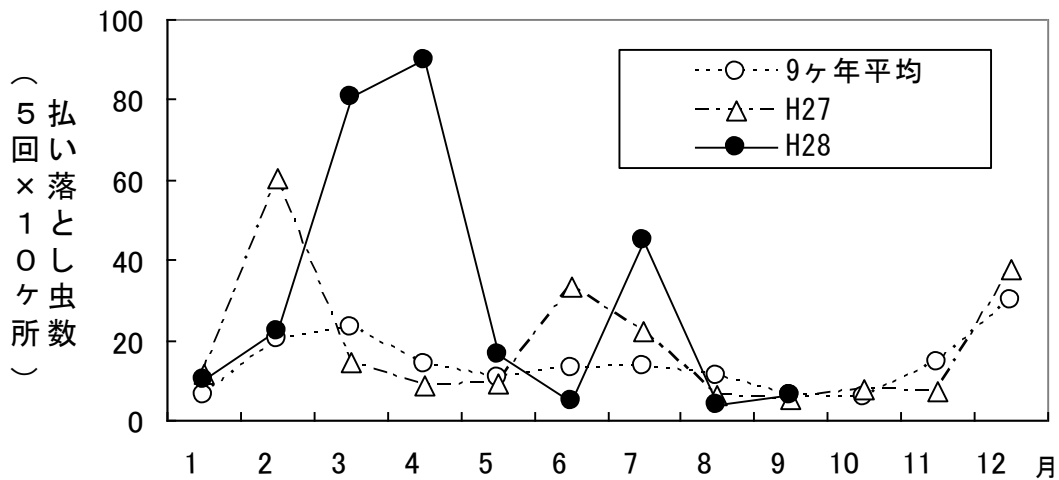


図 アザミウマ類 払い落とし虫数の推移

※払い落とし虫数は成虫、幼虫の合計

かんきつ

1. 緑かび病、青かび病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

向こう1か月間の降水量は多い見込みである。

2. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は3.1%(5.8%)、発生圃場率は30.6%(48.4%)であった。

果樹共通

1. カメムシ類

平成28年度9月15日付け**病害虫発生予察防除情報第13号**による。

茶

1. 炭疽病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、1㎡当たり発病葉数は2.9枚(5.6枚)、発生圃場率は60.0%(53.1%)であった。

2. カンザワハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、寄生葉率は6.0%(1.0%)、発生圃場率は45.0%(20.0%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

葉裏にも十分薬液がかかるよう散布する。

3. チャノキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、たたき落とし虫数(A4版トレイ)は14.2頭(17.9頭)、発生圃場率は90.0%(84.7%)であった。

4. チャノコカクモンハマキ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、1㎡当たり巻葉数は0.3枚(0.3枚)、発生圃場率は15.0%(15.0%)であった。

イ フェロモントラップによる誘殺量(農林技術開発センター茶業研究室調査)は平年並で推移している(図)。

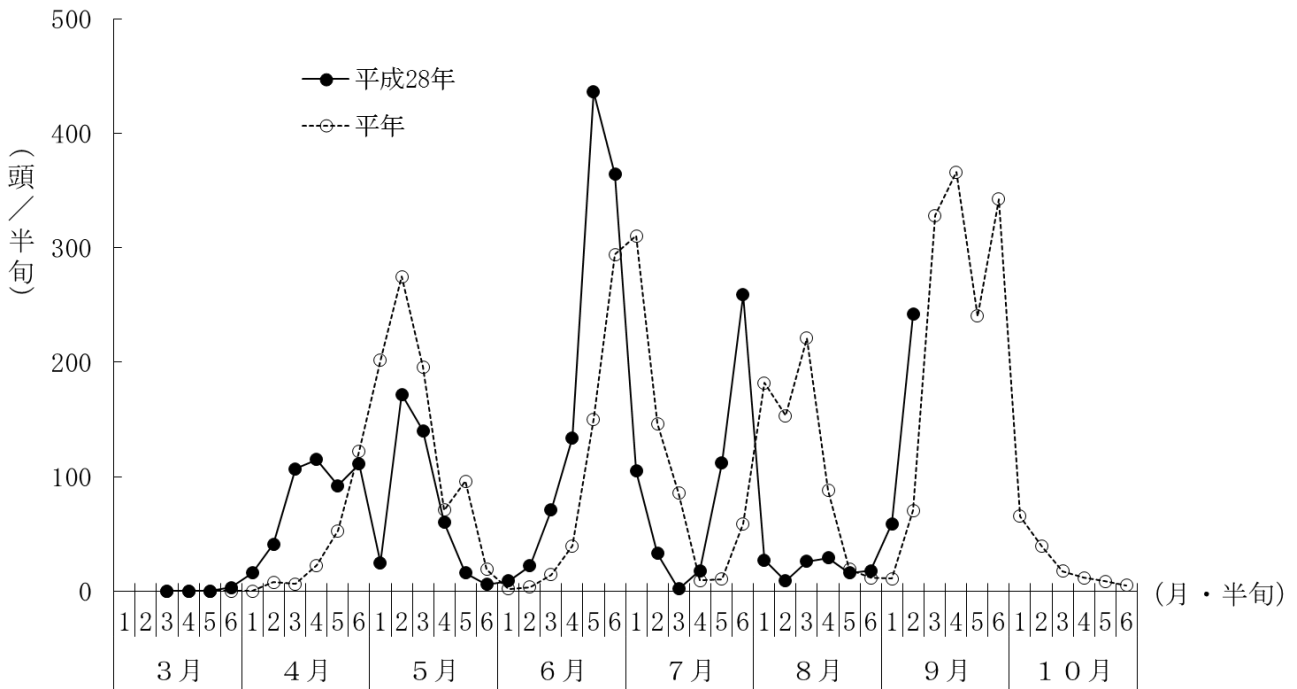


図 チャノコカクモンハマキの誘殺状況(東彼杵：フェロモントラップ)

5. チャノホソガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 9月上旬の巡回調査(20筆)の結果、発生を認めなかった(1㎡当たり巻葉数1.1枚、発生圃場率35.0%)。

イ フェロモントラップによる誘殺量(農林技術開発センター茶業研究室調査)は、平年並で推移している(図)。

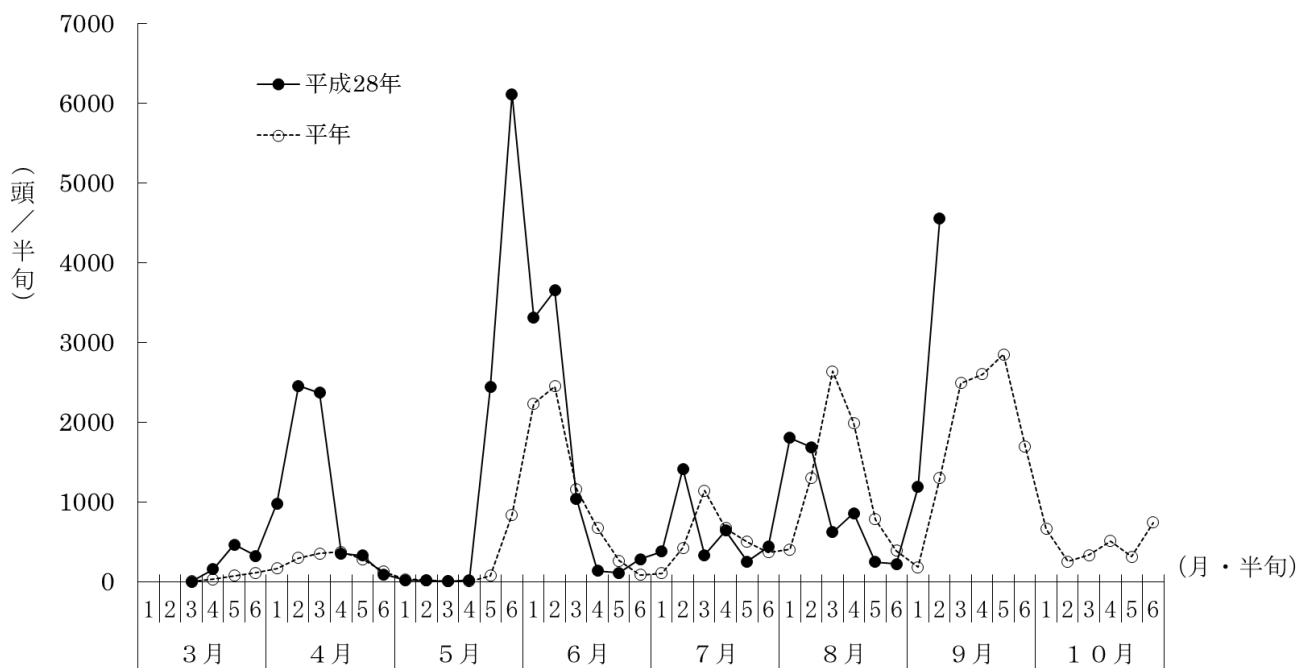


図 チャノホソガの誘殺状況（東彼杵：フェロモントラップ）

6. チャノミドリヒメヨコバイ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査（20筆）の結果、たたき落とし虫数（A4版トレイ）は1.5頭（1.8頭）、発生圃場率は50.0%（54.4%）であった。

7. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

9月上旬の巡回調査（20筆）の結果、寄生株率は2.0%（3.8%）、発生圃場率は15.0%（27.5%）であった。

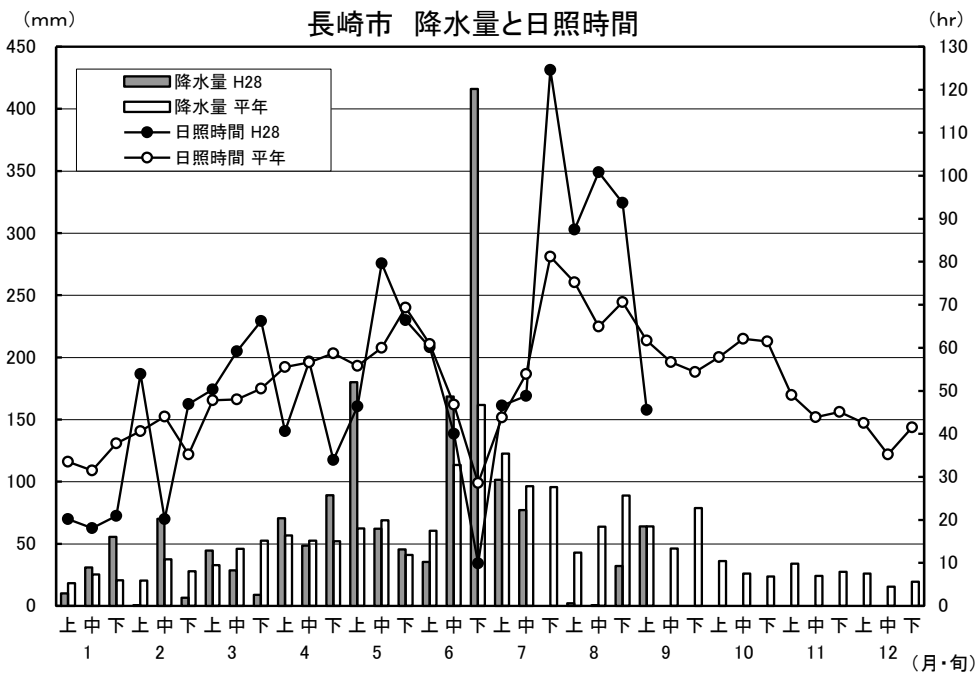
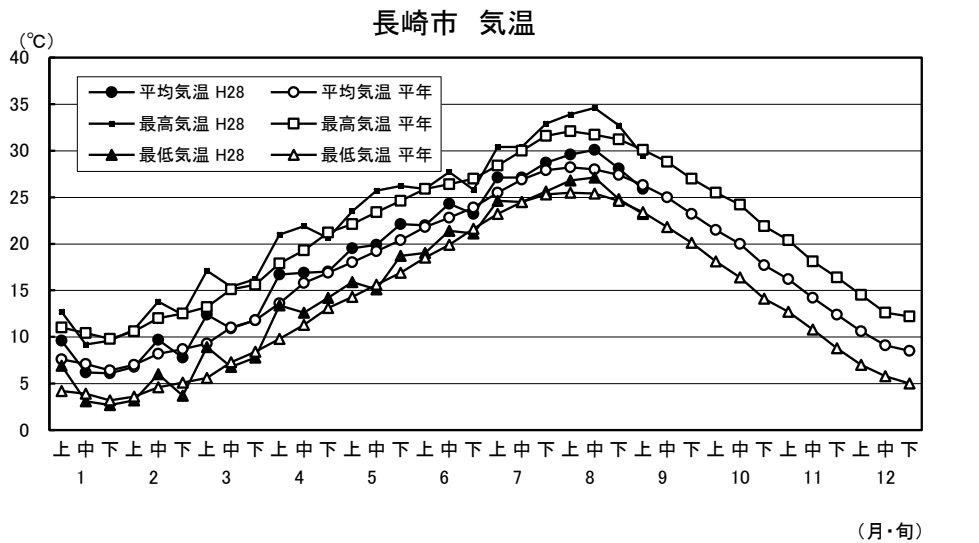
【参考】
気象

(平成28年9月15日発表 1か月予報 福岡管区気象台)
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	40	50
降水量	20	30	50
日照時間	40	40	20

※予報対象地域：九州北部地域

平成28年の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病虫害防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpjn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027

